

生態系保全のための土と木のハイブリッド治山構造物の開発 (農林センター)

主旨

地域の間伐材と現地発生土砂を用いた治山構造物を共同開発し、設計・施工・維持管理指針を作成

図1 府内に試験施工した治山構造物。山崩れや下流への大量の土砂流出を防ぎ、溪流の安全を図る



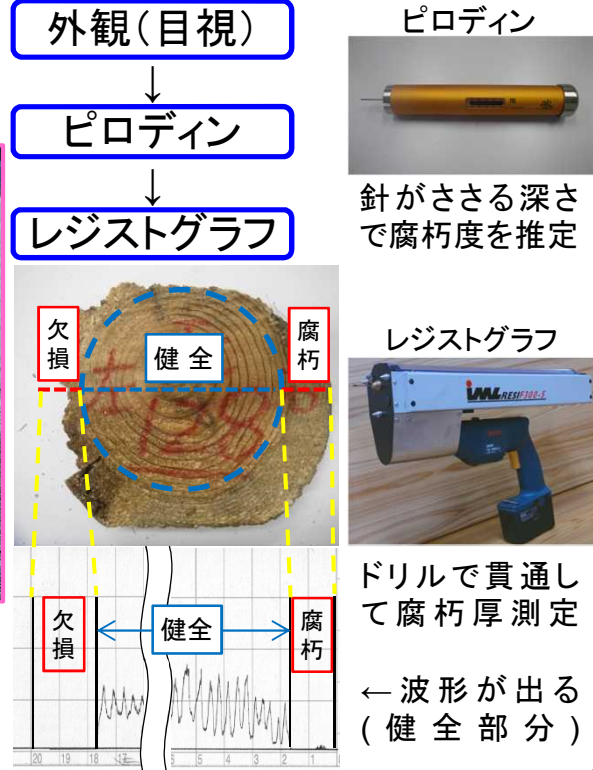
施工後

地域の間伐材使用

落差を小さくし、魚類の移動を容易に

現地発生土砂で施工

図2 治山構造物の長寿命化を図るための木材点検手法を確立



具体的な研究成果

- ・ 開発した治山構造物(図1)の設計・施工・維持管理指針を作成
- ・ 木材の劣化予測(図2)など日常点検手法を確立

研究成果の活用場面、波及効果等

- ・ 間伐材の利用が促進され、林業の発展、山地の保全に寄与します。
- ・ 既設木製施設の維持管理が容易になり、施設の長寿命化が図れます。
- ・ 溪流における魚類の遡上や降下が可能となり、生態系の保全に寄与します。